

松山及び平田地域の公共施設の在り方について

- 1. 前回のフィードバック
- 2. 個別具体施設の再配置案
- 3. 公共施設の再配置案一覧

2024年(令和6年)7月24日

酒田市総務部財政課アセットマネジメント係

1. 前回(第2回)のフィードバック

■ 松山及び平田地域の公共施設の在り方への主な意見

- 施設数を減らすことは必要だが、地域振興のために必要な施設(多目的ホールなど)は長く維持する必要がある。大きな会議やイベントが安定して開催できることが重要である。
- 地域活動が自治会長等の負担で成り立っていることや、人口減少に伴い、自治会長及びコミュニティ振興会長の担い手不足は深刻で、コミュニティ組織自体の在り方が問われている。
- 今回の議論は、松山と平田だけであるが、全市的に考える必要がある。
- 統廃合や複合化は一気ににはできないので、段階的に進めて欲しい。
- 利用率が低い施設に管理人を置くのは無駄だと感じる。

2. 個別具体施設の再配置案

(注)公共施設適正化懇談会の各論の議論のために、
想定可能なものをたたき台として作成したものです

① 松山体育館の機能を改修後の旧松山中学校体育館に移転し、南部コミセン、内郷コミセンの利用も案内する

- 旧松山中学校体育館の仮設スケートリンク終了後は旧松山中学校体育館を新松山体育館として利用する
- 松山体育館の利用者に対し、南部コミセン及び内郷コミセンの集会室(体育館)を情報提供する

長所

- 耐震化されている旧松山中学校体育館、南部コミセン、内郷コミセンを利用できる
- 利用者によっては、南部コミセンと内郷コミセンは松山体育館より近い施設を利用できる

課題

- 山形県がスケートリンクを整備するか不明であるため、仮設スケートリンクの終了時期も不明

経費

- 旧松山中学校改修費用

予定

令和8年2月 スケートリンクオープン

松山地域の体育館

名称	建築年	延床面積	使用件数
松山体育館 	1977 (S52)	1,517m ²	641 (R5年度)
里仁館体育館 (県の施設) 	1981 (S56)	1,149m ² (1階除く)	675 (R5年度)
旧松山中学校体育館 	1987 (S62)	1,454m ²	-
南部コミセン 集会室 	1996 (H8)	858m ²	165 (R5年度)
内郷コミセン 集会室 	1988 (S63)	817m ²	12 (R6年4・5月)

2. 個別具体施設の再配置案

(注)公共施設適正化懇談会の各論の議論のために、
想定可能なものをたたき台として作成したものです

② 平田総合支所をひらたタウンセンターへ複合化



平田総合支所の機能を平田健康福祉センターの保健室及び事務室に移転(複合化)し、平田総合支所庁舎は新たな活用を検討する

長所

- 空調の全館停止や、外壁剥落・キャノピー倒壊の恐れがある施設から移転できる
- タウンセンターの利用者が増えることにより、賑わいが創出される

課題

- 平田総合支所庁舎に消防署平田分署の仮眠室だけが残し、合わせて平田分署の在り方の検討が必要
- 平田総合支所庁舎の今後の利活用(官民連携により新たな利用を募集していく)

経費

- 平田健康福祉センター等改修費用
- 維持管理費効果額 $\Delta 2,150$ 万円

検討スケジュール

令和6年度 地域との協議
7年度 改修工事、移転

平田総合支所

建築年	1985(S60)年	延床面積	3,957.63㎡
R5収入計	950,636円	R5支出計	21,502,285円
主な諸室機能	執務室、会議室	R5収支	$\Delta 20,551,649$ 円

平田健康福祉センター

建築年	2000(H12)年	延床面積	2,733.1㎡
R5利用延人数	23,388人	R5収入計	1,854,062円
R5利用件数	2,569件	R5支出計	32,663,254円
R5稼働率	11.0%	R5収支	$\Delta 30,809,192$ 円
主な諸室機能	集会室、会議室(2)、保健室、調理実習室		
主な利用者	平田地域の福祉団体、ボランティア団体、地域団体、サークル、芸術文化団体、PTA		

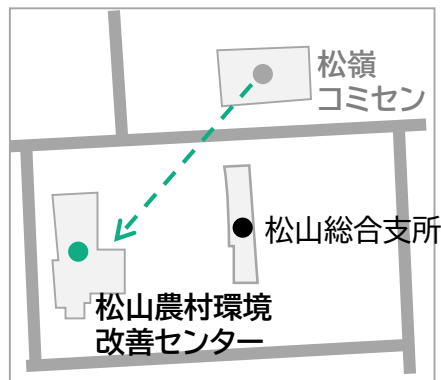
ひらた農村コミュニティカレッジ拠点施設

建築年	2002(H14)年	延床面積	2,294.18㎡
R5利用延人数	10,804人	R5収入計	538,534円
R5利用件数	1,973件	R5支出計	14,474,737円
R5稼働率	8.4%	R5収支	$\Delta 13,936,203$ 円
主な諸室機能	シアターOZ、楽屋(2)、会議室、視聴覚室		
主な利用者	市、市外郭団体、芸術文化団体、スポーツ団体		

2. 個別具体施設の再配置案

(注)公共施設適正化懇談会の各論の議論のために、
想定可能なものをたたき台として作成したものです

③ 松嶺コミセンを松山農村環境改善センターへ複合化



松嶺コミセンの機能を松山農村環境改善センターに移転(複合化)し、現在の松嶺コミセンは新たな活用を検討する

長所

- 類似した諸室機能の共有化により、施設規模の適正化や施設同士の相乗効果等による機能強化を図ることができる

課題

- 松山農村環境改善センターの改修や、松嶺コミセン移転のための費用が発生する
- 松嶺コミセンの今後の取り扱い

経費

- 松山農村環境改善センター改修費用
- 維持管理費効果額 △712万円

検討スケジュール

令和6・7年度 検討・関係機関等との協議
8年度 基本・実施設計
9年度 改修工事
10年度 移転

松山農村環境改善センター

建築年	1984(S59)年	延床面積	1,299.88㎡
R5利用延人数	5,247人	R5収入計	58,160円
R5利用件数	739件	R5支出計	5,742,810円
R5稼働率	10.1%	R5収支	△5,684,650円
主な諸室機能	多目的ホール、調理実習室、研修室(4)		
主な利用者	松山総合支所、市、コミュニティ振興会、地域団体、社会福祉協議会、農協、小学校PTA、芸術文化協会		

松嶺コミュニティセンター

建築年	1988(S63)年	延床面積	710.99㎡
R5利用延人数	4,968人	R5収入計	83,000円
R5利用件数	642件	R5支出計	7,116,333円
R5稼働率	8.8%	R5収支	△7,033,333円
主な諸室機能	集会室、料理実習室、会議室(3)		
主な利用者	コミュニティ振興会、地域住民		

2. 個別具体施設の再配置案

(注)公共施設適正化懇談会の各論の議論のために、想定可能なものをたたき台として作成したものです

- ◆ 第2回懇談会で示した平田農村環境改善センターの統廃合及び複合化の案は、懇談会において「大きい会議やイベントをする施設は残すべき」との意見があったため、案を変更しました

④ 平田農村環境改善センターの開館時間の効率化



平日午前9時から午後5時までとしている受付時間を、午前は予約があるときのみに変更する

長所

- ・ 午前の受付を予約時のみとすることにより、より効率的に運営することができる(松山農村環境改善センターと同じ)

課題

- ・ 管理委託先など関係機関との協議が必要
- ・ 平田農村環境改善センターは老朽化が激しく、修繕が追い付いていないため、将来的な在り方を検討する必要がある

経費

- ・ 維持管理費効果額 △181万円

スケジュール

令和6年度 関係機関と協議
7年度 受付時間変更

■ 平田農村環境改善センター※1

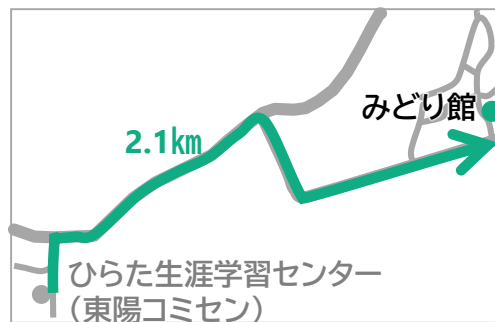
建築年	1979(S54)年	延床面積	1,740.46㎡
R5利用延人数	1,491人	R5収入計	83,720円
R5利用件数	100件	R5支出計	6,328,751円
R5稼働率	1.3%	R5収支	△6,245,031円
主な諸室機能	多目的ホール、調理実習室、研修室(5)、和室		
主な利用者	地域住民、平田総合支所、農協、地域協議会、自治会連合会		

※1: R5はコロナ集団接種会場として使用したため、使用期間は7/1～9/19、1/4～3/31

2. 個別具体施設の再配置案

(注)公共施設適正化懇談会の各論の議論のために、想定可能なものをたたき台として作成したものです

⑤ ひらた生涯学習センターを廃止し、みどり館を東陽コミセンへ転用



- ・ ひらた生涯学習センターはテニスコートを除き廃止し、東陽コミセンの機能をみどり館に移転(転用)
- ・ ホール機能は内郷コミセンなどを利用し、合宿機能は鳥海高原家族旅行村を利用

長所

- ・ 東陽コミュニティ振興会が、天井の雨漏りなど老朽化している施設から移転できる
- ・ 東陽地区に近くなり、集まりやすくなる

課題

- ・ みどり館に事務室を設置するため、改修が必要
- ・ みどり館は駐車場が狭いため、台数が多い場合は旧東陽小学校跡地への駐車を検討

経費

- ・ みどり館改修費用
- ・ 維持管理費効果額 △1,031万円

検討スケジュール

令和6・7年度 東陽コミュニティ振興会及び関係機関と協議
8年度 みどり館改修、東陽コミセン移転

■ ひらた生涯学習センター

建築年	1980(S55)年 (宿泊棟1993年)	延床面積	1,629.51㎡
R5利用延人数	3,620人	R5収入計	194,895円
R5利用件数	1,150件	R5支出計	10,313,827円
R5稼働率	2.9%	R5収支	△10,118,932円
主な諸室機能	多目的ホール、調理実習室、研修室、和室、大・中・小研修室、浴室、テニスコート、宿泊		
主な利用者	ミニバスケスポ少、市(ひらた文化祭など)、東部中ソフトテニス、刺し子団体、東陽コミュニティ振興会など		

■ みどり館

建築年	1997(H9)年	延床面積	242.93㎡
R5利用延人数	2,180人	R5収入計	3,000円
R5利用件数	204件	R5支出計	769,643円
R5稼働率	4.9%	R5収支	△766,643円
主な諸室機能	大会議室、加工室、研修室		
主な利用者	コミュニティ振興会、地域住民		

3. 松山及び平田地域の公共施設の再配置案(たたき台)一覧

(注)公共施設適正化懇談会の各論の議論のために、想定可能なものをたたき台として作成したものです

手法	施設名	機能	設置年	延床面積	再配置方策	課題等
① 統合	松山体育館	体育館	1977	1,517㎡	- 旧松山中学校体育館の仮設スケートリンク終了後は旧松山中学校体育館を新松山体育館として利用する - 松山体育館の利用者に対し、南部コミセン及び内郷コミセンの集会室(体育館)を情報提供する	山形県がスケートリンクを整備するか不明であるため、仮設スケートリンクの終了時期も不明
	旧松山中学校体育館	体育館	1987	1,454㎡		
	南部コミセン集会室	体育館	1996	858㎡		
	内郷コミセン集会室	体育館	1988	817㎡		
② 複合化	平田総合支所庁舎	行政庁舎	1985	3,958㎡	平田総合支所の機能を平田健康福祉センターの保健室及び事務室に移転(複合化)し、平田総合支所庁舎は新たな活用を検討する	- 平田総合支所庁舎に消防署平田分署の仮眠室だけが残り、合わせて平田分署の在り方の検討が必要 - 平田総合支所庁舎の今後の利活用(官民連携により新たな利用を募集する)
	平田健康福祉センター	集会室、調理室、貸館、筋トレ	2000	2,734㎡		
③ 複合化	松山農村環境改善センター	ホール、調理室、貸館	1984	1,300㎡	松嶺コミセンの機能を松山農村環境改善センターに移転(複合化)し、現在の松嶺コミセンは新たな活用を検討する	- 松山農村環境改善センターの改修や移転のための費用が発生する - 松嶺コミセンの今後の取り扱い
	松嶺コミュニティセンター	集会室、貸館、調理室	1988	711㎡		
④ その他	平田農村環境改善センター	ホール、調理室、貸館	1979	1,740㎡	平日午前9時から午後5時までとしている受付時間を、午前は予約があるときのみに変更する(松山農村環境改善センターと同様)	- 管理委託先など関係機関との協議 - 老朽化が激しく、修繕が追い付いていないため、将来的な在り方を検討する必要がある
⑤ 廃止 転用	ひらた生涯学習センター(東陽コミュニティセンター)	体育館、テニスコート、宿泊、貸館	1980	1,630㎡	- ひらた生涯学習センターはテニスコートを除き廃止し、東陽コミセンの機能をみどり館に移転(転用) - ホール機能は内郷コミセンなどを利用、合宿機能は鳥海高原家族旅行村などを利用	- みどり館に事務室を設置するため、改修が必要。 - みどり館は駐車場が狭いため、台数が多い場合は旧東陽小学校跡地への駐車を検討
	みどり館(農林研修施設)	貸館	1997	243㎡		

今後検討が必要な課題

- 総合支所機能の今後の在り方
- コミュニティセンターの今後の在り方(組織と施設の統廃合)

◆ 第2回懇談会で示した平田農村環境改善センターの統廃合及び複合化の案は、懇談会において「大きい会議やイベントをする施設は残すべき」との意見があったため、④の案を変更しました